



謹んで新春のお慶びを申し上げます

皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます

JAM山陰役員一同

企業・職場・雇用にとって正念場の年

執行委員長 多久和 英紀



明けましておめでとうございます

厳しい昨年からの世界同時不況の状況は現在でも続いており、山陰では一層厳しい状況にあると認識しなければなりません。社会は絶えず動いており、経済も動いています。今は環境と人を大切に作る時代となっています。それに適応した意識、技術、製品、サービスが求められており、それらを開発したくましく生き残りを図っていかねばなりません。

皆様のご奮闘を期待し、新年のご挨拶といたします。



JAMの持てる力を発揮し着実な前進を

JAM会長 河野 和治

新年あけましておめでとうございます

今年が皆様にとって飛躍の年となることをお祈りいたします。

一昨年のリーマンショック以来、未曾有の経済不況が継続していますが、今年は企業業績も雇用情勢も大変厳しい中で春季生活闘争を闘うこととなります。新政権に政策・制度として求めることと、賃金実態の把握を基にした賃金水準の維持を車の両輪として、社会的な役割を果たしていく決意です。各企業の経営実態を把握しながら雇用の確保にも全力を尽くします。まず要求を出す。要求を出さなければ何も始まりません。交渉を通じての労使の信頼関係の構築が厳しい環境に対応する力となります。JAMは本部・地方・地協が一体となった取り組みを進めます。

今年7月には参議院選挙が実施されます。これまでJAMの政策実現に大きな役割を果たしてきた「津田やたろう」を必ず当選させなければなりません。「組合員と家族の協力」が当選の必須条件です。やたろう再選に向けた強力な取り組みをお願いいたします。

課題は山積していますがJAMの持てる力を存分に発揮し、一步一步着実に前進していきましょう。今年も変わらぬ皆様のご協力をお願いし、新年のあいさつといたします。

「モノづくり・人づくり・国づくり」のために

参議院議員・JAM参与 津田 弥太郎



新年を迎えましたが、一昨年来の大変厳しい経済情勢の中、毎日大変ご努力、ご苦勞をされているJAM山陰の仲間の皆様に深い敬意を表します。

デフレ・スパイラルという、最も困難な状況を立て直すことは、容易ではありません。まさに、このような閉塞状況が、昨年の総選挙での政権交代を実現させたともいえます。「国民生活が第一」という民主党の政策方針のもとで、何よりも生活を支える政策を、具体的には雇用・子育て・年金・医療・介護などを、より充実させていかねばなりません。まず、私に与えられている7月までの任期いっぱい、全力で取り組む所存です。

2004年の夏以来、皆様に支えていただく中で、JAMに結集する中堅・中小企業に働くモノづくり労働者の代弁者としての任務を果たすために、微力ではありますが全速力で駆け抜けてきました。この延長線上に、次の戦いが待っています。

ことしも一年間、持ち前の元氣と勇氣、そして本気で、「モノづくり・人づくり・国づくり」のために頑張ります。

やたろう「サポーター」エントリーカードの追加募集中!

昨年末まで取り組んできました「やたろうサポーター」エントリーの追加募集をしています。JAMの全労組・全組合員が総力を結集して取り組んでいます。

今一度、組合員のみなさんと同居家族のエントリーへご理解・ご協力をよろしくお願いたします。(サポーターカードを紛失された方は執行部までご連絡を)

**絶対に負けられない戦いがここにある。
コア・サポーターの皆さん、総力戦へご奮闘を!!**



JAM山陰「年末一時金回答状況」 2009.12.23 現在

	2009				2008	
	要 求	回 答	要 求	回 答	同一単組比較	
	金 額	月数	金 額	月数	金 額	月数
単純	412,942	2.02	337,138	1.58	-108,928	-0.44
加重	471,557	2.12	440,945	1.93	-68,043	-0.24

2009 年末一時金は、引き続き景気の低迷とデフレが進行する中での取り組みとなった。

一部の業種や大手企業で回復が伝えられるものの、ここ山陰においてはまだまだ深刻な状況が継続していると言わざるを得ない。

12月23日付の回答集計結果によると、金額・月数とも昨年を下回る厳しい結果となっており、前回まで加重平均で月数2ヶ月以上を維持していたが、今集計では割り込んでしまった。同一単組比較(加重平均)においても、-68,043円(-0.24ヶ月)となっている。

「雇用も生活も守る春闘へ」2009.12.19 2010春闘研修会

2010年度春季生活闘争の取り組みに向けた「2010春闘研修会」が、東出雲町の三菱農機労働会館で開催された。年末間近で多忙な時期にもかかわらず各単組から約80名が参加した。



主催者を代表してあいさつした堀内幹夫労働政策委員長(三菱農機労組)は、「今、JAM山陰の仲間は7割の企業で操業・雇用調整が実施されており、大変厳しい状況下で春闘を取り組むこととなるが、各単組は賃金の実態把握をしたうえで賃金構造維持分の確保をしなければならない。今研修会では、春闘方針策定へ向けて活発な意見・要望を出して是非とも有意義なものにしていきたい」と主催者を代表してあいさつした。



研修会には、基調講演として小室寿明衆議院議員を迎え「民主党政策で生活がこう変わる」のテーマで緊急経済対策を説明。「生活重視の政策転換はこれから。433の事業仕分けをはじめ、変わったことが目に見えるようにしていく」と述べた。

続いて、斎藤JAM書記長から「JAM2010春闘方針大綱」の説明を受けた。デフレスパイラルが懸念される中で「雇用を守り、賃金を下げない春闘へ」と呼びかけた。具体的な要求の考え方や日程についても詳しく分かり易く説明され、参加者らは真剣な面持ちで聞いていた。会場から「定昇凍結の復元に向けた取り組み方」や「57歳以降の賃金ダウン改善」などの質問も出され中身の濃い研修会となった。

最後に多久和委員長の「春闘勝利へ一致団結してガンバロー」のガンバロー三唱で締めくくられた。



▲質問する参加者ら(鬼村/渡辺製鋼所・佐藤/JMS・山田/日匠ST)と方針説明する斎藤常JAM書記長